

歌謡調臺灣行脚

西川榮一

d r m f s l t d r m f　l t d r m f s l
d r m f s l t d r m f s l t d r m f s l t d
d r m f s l t d r m f s l t d r m f s l t d

タロコ小唄

……安来節でもやれん等
はありません……

1
タロコ峡
渡る仙寮橋の下見れば
碧き流の幾曲り
せかれて分かれて又逢ふて
末は思のタツキリ橋
ゼヒトモ一度ハ見ニオイデ

2
来て見れば……　ソーダネ
げに雄大なタロコ峡
岩の高さは空をつき
谷の深さはそこ知れず
あいの小路は雲の上
ゼヒトモ一度ハ見ニオイデ
ソーダネ

3
タロコ峡……　ソーダネ
男はタビトの山褄
夏は不動の岩滝水
秋は紅葉の渓橋
冬は雪見のナマコ山
ゼヒトモ一度ハ見ニオイデ
ソーダネ

4
見たけれは……
訪れてこんせタロコ峡
神代めし千古の玉手箱
神代ながらの大自然
浮世はなれし別世界
ゼヒトモ一度ハ見ニオイデ
ソーダネ

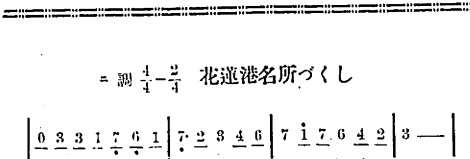
5
何時来ても……
あかめ眺めのタロコ峡
水は千古の岩を噛み
山は雲吐く大自然
遙かにきこゆる生蕃の唄
ゼヒトモ一度ハ見ニオイデ
ソーダネ

花蓮港名所づくし

……岡本新市作歌作曲……
（臨海道路）

1
躍る黒潮見下ろしながら

しくづ所名港北蓮 調＝ $\frac{4}{4}$ $\frac{2}{4}$



2
海に聳えて立つ断崖の
岩刻る道をバスが行く
（タロコ峡）

3
袋を貫き流める山も
千尋の底に淀める川も
神代ながらの砂金層

（三棧橋）

4
狭霧晴れ行く清き流に
影を宿せる岸の高嶺の
底には魚も群れ遊ぶ

（能高山）

1
み空に高き能高山の
雄姿両に輝く頃は
貧の水の皆冴ゆる

タロコ探勝の歌

…岡本新市作歌作曲…

新城あとに立霧の
峡口近く入り行けば
早くも見ゆるハロク幕
屏風の如く聳えたり

2
臨海道路岩に見て
一のトンネル一の坂
登れば峯は天を衝ひ
渓流底に渦を巻く

3
羊腸くねる山裾に
添ひてはばろ分け入れば
山懐に閉されて
浮世を外の別天地

タロコ探勝の歌 調＝ $\frac{2}{4}$ ハ


0 | 1 6 | 1 7 | 1 7 | 6 7 | 1 7 | 6 7 | 1 7 | 6

仙寧橋は虹の橋
天空を行く心地して
渡れば姫しタロコ茶屋

5

宿の翁を訪れて
辿るは山路アヨの里
眼あくれば此妙の
境かと見ゆる扉風岩

6

銀帯橋のたもとには
不動の嗣神さびて
轍ひらめき岩清水
管もさやかに流れたり

7

跳め勝れし渓畔を
過ぎて山路を踏みゆけば
けはしき嶺のそばだちて
迫るところに山月橋

8

橋を渡れば八タガンと
谷を隔てし塔山は
中天高く雲を吐き
巍然として峯えたり

9

かすかに響く水の音
聞きつゝ登る荒坂
碓みすれば遥かにも
沈みて見ゆる里の家

10

嚙ぎて辿る坂道の
極まるところ巌頭に
危くかゝる一條の
岩を刳りし断崖道

11

頭上に高く二千尺
巌壁雲を貫けば
直下す二千五百尺
奈落の底に川を見る

12

霧谷に滴も或時は
虹を脚下に見おろせど
忽ち歩りて晴れ渡り
奔流白くうねり行く

13

崖を下れば路の上の
築き甜に苔かずら
翼へる所遠山の
見えかくれする面白さ

14

雑樹繁れば彼方には
峨々たる山脈連りて
鯵容雲を装しつゝ
タロコ大山そそり立つ

15

再び出づる絶壁の
尖を廻れば合流は
はるかに指呼のうちにあり
散らばる落訛なつかしや

16

分遣隊の屯せし
名残を他ぶ流星山
渓を廻りて仰ぎつつ
竹渡指して降り行く

17

二つの流れ合せたる
其名を負へる合流は
渓谷深く底を這ひ
水は千古の岩を噛む

18

みそらにかゝる銀橋の
虹を左手に眺めつつ

谷蟹ひりけば早川の
岩にせかれて水奔る

19
道のかたての鳥帽子岩
小暗くしめる道行けば
にはかに開く心地して
タビトの里も程近し

20
大正三年セラオカに
滑き名とめし總督を
祀れる佐久間神社には
赤心示す緋襷の

21
姿眩はふ振子に
年々咲けば夜もすがら
踊り集ひて英霊に
答ふる剣代の目出度さよ

22
タウサイ渓を遡り
辿れば近き楓橋
畳に降れば淫寒の
温泉岩間にたぎるなり

23
湯の香も高き天然の
浴槽は白き大理石
華が飛ぶは岩蓋
紅葉も舞ひて散り来する

24
世界に誇るタロコ峡
我等の持てる大自然
此の地國立公園に
定まれかしと祈るなり

東京より

紅雪

◇圓タクにメーター制夏から實施

お客さんの要求次第で、頗ぶる融通性のあつた東京の圓タク料金原則が確定、メーター制によつて均等される事になつた。ガソリン値上問題の上に、統制ばやりの時勢が拍車をかけて、警視廳、商工省及び圓タク業者と、數囘協議をつゞけて居たが、漸く諸が折合ひ、解結點に達して、全市の圓タク一齊に、メーターを取付ける事になつた。

當事の札を倒したとたんに、活動を開始し料金は、最初の二キロで三十錢、以後一キロを増す毎に、十錢づゝ記錄するもので、此の統一した規格によるメーター器の製作を開始した。これが全市一萬臺に一齊に、取付けられるやう製作を急るのが、今京七月頃で「圓タク」の名稱は、こゝに有名無實となるわけで、東京驛を起點にして、淺草雷門六十錢位、上野五十五錢位、新宿驛八十五錢位等となると云ふ。現在の様に、指を三本出したり、五本出しても通用しなくなる。當落から上京される諸君、どうご注のおつもりで……

◇重油と揮發油に切符制度

さあ油の節約、商工省では、長期戰態勢に對應するため、燃料節約の立場から、愈々來る五月一日頃を期して、重油及揮發油の本年中の、推定需用量の、總額に對して、それ〳〵一割五分乃至二割程度